

オープンソースビジネス推進協議会設立趣意書

(設立の趣旨)

- オープンソースの利用は年々増加しているが、エンタープライズ領域においてはまだ普及していない状況だと認識している。
- 企業はオープンソースに対して、「システムコストの削減」、「オープンスタンダードの技術やソフトウェアの利用」、「サポート期限に制約されない長期間にわたる情報システムの利用」などのメリットを期待しているものの、情報不足などの理由からオープンソースが十分に活用されていない。
- オープンソースは、企業にとっては上記のようなメリットの他に国際標準的な技術の採用や、国際的な IT インフラの共通化といった点で、情報サービス産業においては既に普及しているオープンソースソフトウェアの利用による生産性向上や、それによる付加価値領域への経営資源の注力といった点で重要であり、オープンソースの健全な発展は企業と情報サービス産業全体の発展のために必要である。
- また、オープンソースの健全な発展とエンタープライズ領域におけるオープンソースの普及のためには、オープンソースの有償サポートサービスや教育サービスなど、オープンソースビジネスの発展も必要不可欠である。

- エンタープライズ領域におけるオープンソースの普及のためには、エンドユーザーへの啓蒙活動が必要である。
- 特に近年、オープンソースの有償サポートサービスが充実してきており、オープンソースはエンタープライズシステムであっても十分に実用に耐えうる状況にあるが、エンドユーザーには十分に認知されていない。
- 一方、オープンソースの利用者であるエンドユーザーの要望（オープンソースの機能や品質等に関する要望や、サポートサービスに関する要望）を、オープンソースコミュニティや、サポートサービスの提供企業に対して届ける仕組みも存在しない。これがオープンソースの普及を阻害している一面もある。

- そこで我々は、エンドユーザーに対する啓蒙活動を行いオープンソースの有用性について認知を広めること、エンドユーザーの要望をオープンソース開発者及びサポートサービス提供企業に届けること、及びオープンソースの健全な発展のためにオープンソースビジネス市場を拡大することを目的として、「オープンソースビジネス推進協議会（略称：OBCI Open Source Business Creation Initiative）」を設立する。